

福島1号機、毎時1・5シーベルト 東電初測定、鮮明画像も



【共同】東京電力は19日、福島第一原発1号機の原子炉格納容器内部に自走式ロボットが撮影した原子炉格納容器底部にたまつた汚染水の中を、毎時1・5シーベルトという高い放射線量を測定したと発表した。ロボットで撮影した水中の画像も公開した。底部付近の線量測定や鮮明な画像の撮影は初めて。溶融核燃料(デブリ)については「撮影画像を分析中で判断できない」としており、19日以降も調査を続けて初確認を目指す。

「中1ギャップ」という言葉があるで、中学校を感じた。小学校では少しおしゃべりがぶり出た。中1ギャップとは、小学校から中学校に進学する際うまく馴染めないと、中学校はもうと勉強していくと言われていくと言われて

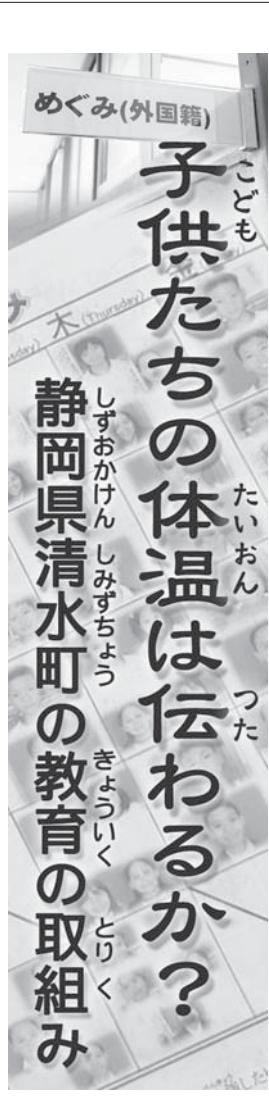
る。「中1ギャップ」という言葉があるで、中学校を感じた。小学校では少しおしゃべりがぶり出た。中1ギャップとは、小学校から中学校に進学する際うまく馴染めないと、中学校はもうと勉強していくと言われていくと言われて

る。文科省ではその原因として、中の中の接続が悪いこと、具体的には学科担任制と教科担任制の違い、指導方法の違いなど、生活面の問題で、不足などを挙げている。

静岡県清水町の教育の取組み

が難しくなるのに日本語の支援はなくなるんですね」。我々が取り組まないやならないところだね。鈴木校長はあまり多く課題に関して、特に柔軟な指導が期待できるがために期待されたいのが、小中連携や小中連携を語らなかつた。中1ギャップを乗り越えるために期待されたいのが、小中連携や小中連携を語らなかつた。

望まれる小中の協力体制(7)



今年も日本式野球の伝授に



JICAによる大型連携事業で、日本体育大学の野球部員8人が今年も来伯指導に訪れた。技術向上と青少年教育などを目的としており、21日の離伯まで約1ヶ月間、全伯10都市で活動。2014年の派遣から4年連続で実施され、走攻守といった基礎プレーの指導、連係プレーの実演を通じ日本らしい細かい指導に汗を流した。

ちびっ子から記念にTシャツを受け取る日本大メンバー／試合では終始コチアを圧倒した。

日本の春休みに合わせ、毎年この時期に1ヶ月間の短期派遣が実施され、日本は聖地州を始めとされた。

日本は聖地州を始めとされた。



[共同]
9日目 (20日・エディ)
オアリーナ大阪
綱稀勢の里は関脇琴媛菊
山が1敗で追う。十両は



琴媛菊を下した稀勢の里

大相撲春場所
勝ち越されたが、
その裏無死二、三塁から
中村(高知)を5-1で
打たれた。群馬勢は春夏通

手を先制し、六回には4長
打で3点を追加。3投
手の継投で、21世紀枠
で40年ぶりに登場した
前橋育英は二回に2点

打を放つたが、四回途中か

ら林が中前へ2点適時打

を放った。3度リードさ

れる展開ながら、打線は

先制2ランなど7本の長

打が九回に急ぎよ交代

し、最後は2番手の伏見

がつかまつた。高岡商は役の

先制2ランなど7本の長

打を放つたが、急ぎよ交代

し、最後は2番手の伏見

がつかまつた。高岡商は役の

</